新時代、独創技術でリード

北東京のモノづくり

東京都板橋区、北区、豊島区、練馬区、中野区、杉並区のある城北地区は、都内有数の製造業の集積地域となっている。この地域には独自の高い技術を持つ企業や、イノベーションを進めている先進的な企業が多く見られる。こうしたものづくり中小企業を技術面で支援しているのが、東京都立産業技術研究センター（東京都北区）だ。産技研は５月に本部を江東区へ移転する予定だが、新本部では機能を充実させ、引き続き城北地区の企業を全面的にバックアップしていく。同センターの吉野学理事に、城北地区の現況や産技研の中小企業に対する取り組みについて聞いた。

インタビュー

東京都立産業技術研究センター理事　吉野　学氏

技術支援から事業化支援へ

イノベーションを創出し、新事業を創出する研究を充実

―城北地区の企業にはどのような特徴がありますか。

「城北地区の中でも板橋区は製造業が盛んで、製造品出荷額が23区で大田区に次ぐ2位となっている。1事業所あたりの出荷額も23区中1位が板橋区、3位が北区だ。城北地区は1事業所あたりの従業員数や製品出荷額が大きく、中堅企業が多い。リーディング企業が多いのも特徴だ。また、業種別では精密測定機や分析機器、写真機や光学機械などの業務用機械が多いのが目立つ。工業と商業のバランスがある程度とれているといえる地域だ」

―産技研への依頼試験にはどのようなものが多いですか。

「製品化に向けての試験依頼が多い。これまでは景気の低迷により、試験の一部だけを依頼されることもあったが、最近ではそれもなくなりつつある。また、景気変動の影響を受けやすい環境試験の件数も今年初めまでは落ち込んでいたが、ここにきて以前の水準に戻りつつある」

「近年伸びてきているのが照明関連の試験だ。発光ダイオード（ＬＥＤ）が注目されており、照明や光源に関する試験依頼が多く来ている。依頼はセンターの能力いっぱいにまで増えており、試験は2か月待ちの状態だ」

―産技研は拠点を江東区青海に移して、5月17日から業務を開始します。

「新本部では従来の基盤技術の支援に加えて、製品化や事業化を支援していく。新たに高度分析開発セクター、システムデザインセクター、実証試験セクターを設ける。また、旧本部でもあった製品開発支援ラボは新本部では24時間使用可能となる。部屋数もこれまでの3室から18室に増やした。また、企業の付加価値づくりを直接支援するオーダーメード開発支援を推進していく」

―それぞれのセクターではどのようなことができますか。

「高度分析開発セクターでは高度、高額な分析機器を整備し、中小企業の先端技術分野への進出や高付加価値製品の開発を技術面で支援する。具体的には、先端技術を応用した機能性材料の開発や、製品の超小型化、高集積化を実現する高精度の製品や環境対応製品の開発を支援していく。また、要望が多く寄せられている事故原因や製品不良の原因解析、究明にも対応していく」

「従来あったデザインセンターを拡充し、システムデザインセクターを立ち上げる。ここでは、デザインの活用により『売れるものづくり』を総合的に支援していく。デザインギャラリーを新設し、企画やマーケティングから販売促進までの支援を拡充する。さらに、設計から試作、評価までを総合的に支援していく。三次元造形機（ＲＰ）による立体モデルの高速試作などを行えるようにする」

「実証試験セクターでは温湿度、振動、衝撃、劣化、腐食、耐ノイズなどの評価試験機器を集約し、技術相談から依頼試験、機器利用までをワンストップで提供する。専門技術職員による技術相談も行う。安全で信頼性の高い製品開発を支援することで、製品評価につなげてもらいたい」

―このほかに産技研ではどのようなことに注力しますか。

「新規産業育成の重点研究分野は『環境・省エネルギー』、『メカトロニクス』、『ＥＭＣ・半導体』、『バイオ応用』だ。バイオでは医工連携も含めて考えていきたい。また、グローバル化に対応した取り組みとして、中小企業に対して国際規格に対応した技術支援や証明書の発行体制を整備する。このほか、利用者を業種別に見た場合、全産業に占める製造業以外の割合は38・8％だ。ソフトウエア産業やデザイン産業の関係者にも利用してもらい、製造業以外の利用比率を50％以上に高めたい。人材育成にも取り組みたい」

「また、産業交流支援の役割を果たす東京イノベーションハブは、これまで大学のシーズ集を集めていただけだった。新本部では約４００平方㍍の空間を生かし、中小企業の交流・情報発信のスペースとして活用していく。中小企業が大学や研究機関、大企業などと連携することで、製品開発や情報発信を支援していく」

「産技研の２０１１―15年度の中期計画では、『技術支援から事業支援を含めた支援へ』として、ものづくり産業に対して、高付加価値化、デザイン活用、高い信頼性などを実現する総合的支援を推進する。また、環境や福祉、安全・安心など大都市の抱える課題の解決に貢献できるイノベーションを創出し、新事業を創出する研究を充実させていきたい」

―産技研の拠点は城北地区から離れますが、支援体制は維持されますか。

「これまでは近いこともあり、長靴を履いたまま来られるような距離だった。新本部では機能を充実させるので、引き続き城北地区の企業にこれまで通り利用してもらえると考えている。板橋区などでも検査機器を導入し、利用できるように準備を進めている。技術は高度化している部分もあり、区では対応しきれない部分もあるかもしれないので、その際にはぜひ産技研を活用してもらいたい」

―城北地区の自治体との連携も進んでいますね。

「09年6月には板橋区と覚書を締結した。同区が計画している新産業育成プラザ（仮称）の設置にあたり、産技研ＯＢが準備にあたるなどの人材支援を行う。このほかに板橋製品技術大賞などの審査や産業人材の育成、企業からの相談受け付けなどを行っていく」

「さらに、今年2月には北区とも覚書を締結した。中小企業を中心とした地域産業の活性化を目指し、既に行っている『北区きらりと光るものづくり顕彰』に関する審査へ協力するほか、われわれから技術相談員を派遣することを検討中だ。北区と板橋区で進める『ＫＩＣＣプロジェクト』への参加するなどの産学公連携に関する協働も進めていきたい。移転によって城北地区の企業に対する支援が弱まることはない」

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

Linking your dreams

LINTEC

シール・ラベルから半導体、液晶、太陽電池分野まで。夢を明日へつなぐ技術。私たちはリンテックです。

この言葉は、リンテックが皆様に誓う約束です。
世の中にあふれるたくさんの夢を独自の技術でつなぎ合わせ、
共にカタチにしていこうという私たちの強い意志です。
リンケージ＋テクノロジー＝リンテック
技術と技術を融合させ、高次元の価値を生み出す会社。
研究員やエンジニア、そしてすべてのグループ社員が一丸となり、
皆様の夢の実現のために持てる力を惜しまない会社。
「夢を明日へつなぐ技術立社」として。
リンテックの今後の挑戦にご期待ください。

リンテック株式会社　東証1部:7966
●本社　〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
お問い合わせは、広報・IR室　TEL.(03)5248-7741　FAX.(03)5248-7754
http://www.lintec.co.jp/